

学校・学科の在り方に関する検討の視点

<検討の進め方>

社会の変化や生徒の多様化、今後の急激な生徒減少に対応するため、学科等の現状及び今後の方向性を踏まえながら、本県の学校・学科の在り方について検討する。

<各学科等の現状と今後の方向性について>



第2回・第3回

<中高一貫教育の現状と今後の方向性について>

中高一貫教育

[検討の視点]

- ◆各学科等の育成する人財像（目指す役割）
- ◆成果・課題
- ◆今後の方向性
- ◆他学科との連携の必要性・可能性について
- ◆拠点校（※1）、複数学科設置校（※2）について
- ◆くくり募集（※3）について
- ◆第2分科会で検討すべき留意事項
 - ◆ 専門高校、総合学科の高校の規模の下限等について
 - ◆ 小規模校の教育支援策について 等

<学校・学科の在り方について（全体協議）>

学校・学科の在り方について

[検討の視点]

- ・これまで本県にあった学校の形だけでなく、他県の事例も踏まえ、これからの本県の学校の在り方について検討・整理
- ・育成する人財像、現状の成果・課題を踏まえ、今後の各学科等の方向性について検討・整理

第4回

県全体の学科構成について

[検討の視点]

- それぞれ学科の特色により育成する人財像及び生徒・保護者のニーズを踏まえ、県全体における普通科等・職業教育を主とする専門学科・総合学科の学科構成について検討・整理

縦の連携・横の連携等について

[検討の視点]

- ・中高一貫教育校の成果・課題を踏まえた今後の方向性について検討・整理
- ・校種間連携、地域の教育資源との連携等について検討・整理

※1 拠点校・・・他県の事例において、大学等への進学対応や職業教育のセンター的役割を果たす学校

※2 複数学科設置校・・・複数の異なる大学科を設置する学校。他県の事例において、農業・工業・商業・家庭等の複数の職業教育を主とする専門学科で構成する学校（総合産業高校、総合制専門高校等）や、職業に関する学科のみならず、普通科、総合学科等も含めた複数の学科で構成する学校がある。

また、複数学科設置校には、統合前の校舎を生かし、複数の校舎による1つの学校として、学科ごとに学習し、学校行事等は合同で行う学校もある。

※3 くくり募集・・・複数の学科を一括して、あるいは、同系列ごとにまとめて募集し、入学後のガイダンス等を経て2学年から希望学科を選択する募集方法